

# 桐 蓄

編集発行 第13号  
 群馬県立桐生工業高等学校  
 同窓会事務局 編集部  
 群馬県桐生市西久方町1-1-41  
 TEL 0277 (22) 7141  
 印刷 湯浅印刷株式会社

## 会長挨拶

### 桐生同窓会の 発展を目指して

池田光二



同窓生のみなさまには、お元気で活躍のことと拝察いたします。本校同窓会はみなさまの温かいご支援で年々隆盛の成長を続けています。

ところで、同窓会を取り巻く環境は時代の変化に影響を受けます。その一つが少子化です。同窓会の活動原資は、新入生が入学時と卒業時に納付する計九千円の同窓会費によりまします。しかしながら、少子化による入学者減で会費入金が減の一途です。この現象は日本中の学校が等しく同

じです。そこで本校同窓会は、財務基盤を強化のため、同窓会顧問・常任幹事・正副会長の役員に賛助年会費（年一万円・正副会長二万円）をお願いすることとし、常任幹事会と総会にお諮りし、満場一致でご承認をいただき、平成十三年度から実施の運びとなりました。さらに同窓会名簿の作成時に、賛助金の寄付を頂いている各地の同窓生にも一〇（一千元）以上の賛助金をお願いいたしましたところ、これまた大勢の同窓生より振り込みがありました。同窓生の母校愛と反応の速さに、たいへん感動いたしました。

このように財務は安泰へスタートをしました。これを跳躍台に、同窓生のさらなる発展を目指したいと存じます。そのためには支部の充実と活性化が絶対要件です。

支部長さんは日頃、支部運営にご苦労されています。そこで、支部活性化を支えるため、支部に対し、同窓生数に連動した支部運営費と、常任幹事数を検討すべきと考えます。

同窓会のゴルフ親善大会は、歴代役員のお力で九回の大会を重ね、同窓会にとって重要なイベントとなりました。平成十三年は新世紀のスタートを切る第十回大会として、参加申し込みが空前の二百名を超え、盛大な大会が期待されましたが、十一号台風が群馬を直撃の予報に接し、大会前日の午後、関係役員が急遽相談の結果、まことに残念ながら今回は中止と決定いたしました。記念すべき大会が台風のためとはいえ、中止になりましたことはまことに痛恨の出来事でした。とくに、各支部のゴルフ運営委員さんや競技委員さんには、参加者の勧誘や組合せなどに、暑い中を格別なご尽力を頂きましたので、大会の中止は極めて残念でした。つきましては、次の大会には今回のエネルギーをさらに倍加し、画期的大会を計画いたしますので次回もよろしくご協力をお願い申し上げます。

以上、同窓会近況の報告がたがた、同窓会のさらなる発展のため、みなさまのお支えを御願ひ申し上げる次第です。

## 開校記念講演

シドニーオリンピック大会  
 日本男子体操チームコーチ  
 特定医療法人  
 徳州会 東京本部勤務  
 平成九年度 電気科卒業

### 講師 長澤憲一氏

高校時代はもとより卒業後の日体大・紀陽銀行時代に、アジア選手権をはじめ各種の体操競技会で入賞され、又、昨年の五輪では代表コーチとして活躍された平成後の若い卒業である長澤先生を招き今年度の開校記念講演会は開かれました。

「私と体操競技」の演題の通り、競技生活で得た教訓を競技模様のビデオ放映を交え生徒に熱く語りかけました。



# 校長挨拶

## 教育の基本とは

加藤 健一

桐工同窓会会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

年度当初に、学校運営方針として「当たり前の事を当たり前にきちんと行う。」ことを全ての基本として、本音と建前を乖離させることなく、誠実に職責を全うしていきたい。と、所信を述べました。

そして、地域に信頼されて元気に、安心して学校生活を送れる学校づくりを目指しておりますが、その中で重要な一つに、規則・規律の遵守があります。昨今、大人も子供も集団生活の基本的ルールが守られないことが多いといわれ、憂慮されます。

現代は、変革の時代であるといわれておりますが、教育については、今の教育改革がスタートしたのは一九八四年の臨時教育審議会からです。その時に薫風俳諧理念の「不

易と流行」という言葉がキーワードとして語られました。

以来さまざまな教育改革の提言がなされ、実行もされてきました。しかしながら一方で、いじめ、不登校、学級崩壊、凶悪な青少年犯罪などの問題が、相次いで生じていることも事実です。それは、これまで「流行」の部分が先行し、時代を超えても譲ってはい

ならない「不易」の教育が疎かになっているのも一つです。池田潔のイギリスの学校生活を描いた名著「自由と規律」にはこの様なことが書かれております。「既定の校則には絶対服従を要求され、服装は

過も容赦ない刑罰をもって律せられるー彼等イギリス人の謳う自由とは如何なるものか。すべてこれ等とは自由の前提である規律に外ならない。自由と放縦の区別は規律の有るか無いかである。社会に出て大らかな自由を享有する以前に、彼等は、まず、規律を身につける訓練を与えられるのである。』

一例ではあるが、教育の基本に立ち返る必要がある。

平成十三年度

## 総会開催

二十六支部 一三九名参加

日時 平成十三年六月十六日

(土) 午後三時

場所 桐生市市民文化会館

スカイホール(四階)

### 第一部 総会

#### 次第

一、開会の辞

副会長 八木橋祥介

二、挨拶

会長 池田 光二  
校長 加藤 健一

三、議長選出

議長(会長) 池田 光二

四、議事

(一) 報告第一号

副会長 木島 清

平成十二年度事業報告

副会長 木島 清

平成十二年度決算報告

会計部長 大沢 秀夫

平成十二年度監査報告

監査役 藤生 修身

(二) 報告第二号

支部活動状況報告

副会長 村田 永昌

(三) 議案第一号

賛助会費、会則改正について

副会長 木島 清

事務局長 百海 晃弘

同窓会会計を従来の会費だけでなく賛助会費・賛助金・寄付金等でまかなうことを可決。併い会則改正。

(四) 議案第二号

平成十二年度事業計画案

副会長 北川 貞彦

(五) 議案第三号

平成十三年度予算案

会計部長 大沢 秀夫

(六) 議案第四号

平成十三年度役員改選について

事務局長 百海 晃弘

(七) その他

同窓会表彰(記念品贈呈)

春の叙勲受賞者

勲五等瑞宝章 更生保護功勞

20W卒 周藤 寛一様

(写真上)

勲五等瑞宝章 消防功勞

32M1卒 高松 理祐様

(写真下)

桐生十三号について

副会長 北川 貞彦

第十回ゴルフ大会について

実行委員長 石園 二六

五、閉会の辞

副会長 中野 明

以上

二部 総会記念講演

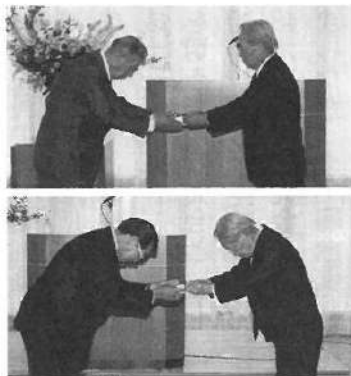
講師 彦部 敏郎氏

国指定重要文化財

彦部家住宅 当主16W卒

演題「四百年の歴史を顧みて」

伝統文化継承のご苦労また意義を今も広沢町にたたく彦部家住宅の歴史を交え語られました。



以上一部、総会・二部、記念講演会の後、三部として懇親会が開かれ和やかな雰囲気につつまれた平成十三年度総会は終了しました。

# 県外支部だより

## 関西支部

### 地域に根ざした

### 家族的なおつき合い

支部活動を総会以外に、もつともっと身近に感じられるように花見会や月見会などを活発にしよう」と幹事会で意見が出されました。

そんな声を受けて手始めに「夏の川床」を企画いたしましたところ、八名の方々が賛同され六月二十三日（土）京都の奥座敷と言われ東北部にある貴船の「納涼川床」へ行きました。あいにく前日からの雨で、床が濡れていたためせせらぎを耳にしながらの川床はダメでしたが、お座敷での鮎料理に舌鼓。話題は遠い桐生の話です。こうこれ以上の遊空間はありません。京都の中心部を流れる鴨川の水源地にあたり、「水の神様」として崇められる貴船神社を始

## 中部支部

### モノづくりランド

### 35 M 蟹江 光正

め、名所旧跡の多いところで観光客が後を絶たない貴船であります。貴船から鞍馬山へと抜ける通称木の根道峠は、源義経が牛若丸の頃天狗を師匠に跳躍の練習をしたところとして有名。絶好のハイキングコースでもあります。紅葉に燃え、雪に静まる頃。炬燵で味わうボタンなべが名物。人のあたたかさを感じる会合を続けたいものです。



同窓会中部支部も早いもので、満5才を超えた。本部からの来賓の皆様を総会の翌日、世界のトヨタのルーツである名古屋市の産業技術記念館と新築改装成った名古屋駅のツインタワーに御案内した。自動織機の発明で有名な豊田佐吉と長男で国産自動車の開発に生涯を捧げたトヨタ自動車の創業者、喜一郎。この二人が終生持ち続けた「研究と創造の精神」「モノづくりの心」を後世に伝えようと、トヨタグループが喜一郎生誕百年を記念してオープンしたのが産業技術記念館だ。名駅のツインタワーは中部地区最大のビルで昨年オープンし、五十二階建てである。工業製品出荷高日本一の中京地区。この地域に縁あって就職し、我国の工業の進展に貢献してきた桐生出身者が胸を張って自負する処である。中京地区が誇れるものこそ焼き物、繊維、工

レクトロニクス、工作機械等々。

ものづくり立国こそ中部支部の我々の自慢だ。



## 静岡支部

### 支部長

### 28 M 松村 元夫

とになり身の引きしまる思いであります。  
新役員としては、副支部長に六本木篤さんが就任して下さり、心強いかぎりでありませう。又、今年度より事務局を設置し、野竹康和さんが今迄通り担当することになりました。今後共、県内会員皆様のご協力を得ながら、支部発展の為に尽力致す決意ですので、何卒宜しくお願い申し上げます。

追伸

〈支部だより〉

前任の支部長でありました高草木敏夫氏が九月二十一日をもって、東京へ栄転されました。九月十五日、有志の会員諸氏によりまして、静岡市内の料理店にて盛大に送別会を開催し、今迄のご努力に対し感謝の宴となりました。

高草木さんの益々のご健勝とご隆盛を心よりお祈り申し上げます。  
〈事務局〉





# 市内近接支部だより

## 第一支部

納涼懇親を兼ねての

支部総会

支部長 徳永達郎 (25 D)

毎年七月開催を予定している支部総会は、今年は七月二十七日(金)に、本町三丁目割烹タルマに於て、池田会長、村田副会長、百海事務局長の御来席を頂き、第三回支部総会を開催致しました。猛暑の七月の納涼を兼ねての総会であり、気楽に参加をお願い致しました。

定例の六時過ぎ、司会、細

谷昌弘 (34 W) により徳永支

部長の開会を兼ねての挨拶、

池田光二会長の御挨拶、前会

長の五十嵐健雄顧問の御挨拶、

学校の近況について百海晃弘

事務局長より報告をいただき、

ついで村田永昌副会長の支部

発展を願っての乾杯の発声に

より、祝宴に入りました。

第一支部は桐生市行政区の



第一区であり、第二支部と同じく人口も少なく、従って卒業生も少なくなっていて、特に若い卒業生が少なく、在住者は高齢化してきています。そんな中、総会出席頂いた方々は、今の不景気の対処法、昔話等々……夏たけなわのうち二時間は経過してしまいました。(出席者は計十四名) 司会の細谷に換わり滝沢桂次 (28 W) により北川貞彦副会長のめめを兼ねた閉会の挨拶があり、無事終了。次会の開催を期して三々五々して、あるいは二次会へと散会しました。(文中敬称は略)

## 第二支部

### 祇園祭

市制八十周年記念に当る平成十三年の桐生まつりが天候に恵まれ賑々しく盛大に行われました。

本年は私共第二支部の本町

四丁目が三百年以上の歴史あ

る祇園祭の天王番町として屋

台と鉾を、本町五丁目「粹

翔(すいしょう)」と命名され

た大櫓を中心に三基の櫓を、

そして本町六丁目が数十年ぶ

りに屋台を出し、惣六丁の協

力を得て千秋楽を迎え無事に

終了致す事が出来ました。

扱て来年平成十四年度は本

町四丁目が「送り番町」とな

り、本町六丁目が「迎え番町」、

そして本町五丁目が「天王番

町」として盛

大に挙行され

る予定です。

祭りには本

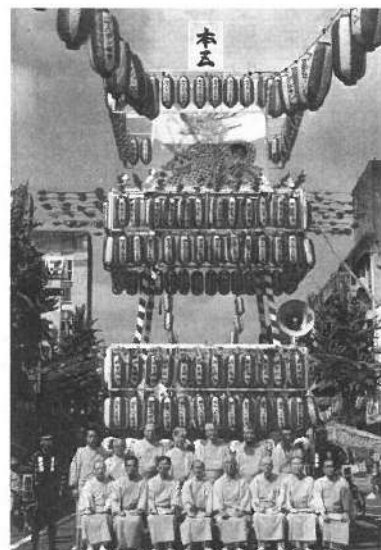
校同窓会員が

大勢かかわっ

て行われ、私

の町内でも町

会長の金子篤



第五街中老会 平成13年8月3日

郎氏 (31 D) が祭典委員長として、若者会脇行司に井上純一氏 (52 E)、そして中老会に多くの同窓会員が参加し伝統ある祇園祭りを継承すべく努力を致して居ります。

### 粋

第五街若者会

稲妻が走る

雷鳴が轟く

豪雨に打たれ

尚、華やく

何を思い踊るのか

何を忘れ踊るのか

力の源(こ)に有り

はた音鳴子が起龍を呼ぶ

天貫いて神を呼ぶ

鳴子よ響け友を呼べ

力合せよ粋翔の下

支部長 小林 清

## 第三支部

### 会報配布に鋭意努力

支部長 周東 正治

同窓会支部長会議で、いつも話題になる会報桐雷の配布状況は、各支部の地域と環境がそれぞれ異なっており、会員に限無く配られる最善の方法は中々ないようです。

私共の支部でも、地区幹事が少なかつたり熱意があつても配布の滞る所もあります。

さて、第三支部は平成元年三月設立され、十三年が経過いたしました。その間、支部

総会や役員会を開催、会員相互の親睦を計ってきましたが、

やはり、毎年発行される会報こそ、本校および同窓会活動

の様々な情報源として、会員諸兄に提供されなければなりません。

昨年、支部役員会を開催、

桐雷配布について話しあいました。色々な意見のなか、順

調に配られている地区と役員が少なく多忙であったりして

成果のあがらない地区もあり

ました。また、会員の転居な

どの関係で配布できない事もあつて、最新の会員名簿が必要と考えられました。後日、同窓会事務局に町内別会員名簿をお願いし、その後、新しい名簿を頂きました。

思うに、支部発足以来、幹事は殆ど増えておりませんし、それなりに年を経てまいりました。やや硬直化の感ある現状を一度見直す時期と考察いたします。

一方、市外・県外支部が各地で設立され、活発な支部状況を窺い知るにつけ、故里を離れ異郷で活躍する同窓の人々と、地元支部で過す人との連帯感、そして思い入れの相違を垣間見ることとなりました。

今後、多くの会員に会報をお渡しするために、  
○地区幹事の増加を促し、出来れば比較的若い幹事に入って頂き、時代の變化に対応したい。

○地区幹事と連携し、配布上どこに問題があるのか一緒に考えて行きたい。これからも、同窓の絆深める桐雷配布に努めてまいります。

### 第四・五支部

第四・五支部会員の皆様には御健勝の内に、お越しの事と拝察申し上げます。さて今回支部設立以来第六回目の支部総会が行なわれました。未だ明るい時間ですが、本日から池田会長、副会長の村田さん、事務局長の百海先生の三名の御来賓と、顧問の第一回生の朽津先輩を始め多数の

会員の皆様の御出席を戴き支部の総会が開催されました。時に平成十三年六月二十三日(土)の午後八時二十分、場所は支部の自宅のレストラン小

ばやしです。総会の次第の通り支部長挨拶に続き池田会長の挨拶があり、その中で本部の総会の経過や、近況報告等のお話がありました。報告事項や議事進行も無事終了し、最大の楽しみである懇親会に移りました。先輩後輩の区別

も無く和気相合のなか、非常に楽しい一刻を過ぎました。酒問のうちに、支部設立以来これまで約二年に一度の支部の総会も今後は年に一回程度の開催をしてはどうかとの事

でありました。亦、桐雷の配布や今後の支部の運営や役員の改選等を含め種々の意見や、情報の交換や、近況の健康のこと等話題の儘さる事なく続きました。二時間を越す本当に有意義な時間を過ごし、再会を約しながら会を終了致しました。

支部長 小林 幸雄

### クラブ活動と求人効果

昭和三十五年夏、硬式野球部が念願の甲子園出場を果たし、球都桐生の名を全国に轟かせたのは記憶に新しいところ

この甲子園出場が翌年の求人にも多大な好影響を及ぼし、一学年後輩の私も三十八年度卒業生はその恩恵に充分預かったのであります。つまり、かつて求人になかった企業までが桐生生の採用に動いたのです。

経済不況下のなか、在校生の進路不安定の状況を憂慮し、母校のクラブ活動の在り方に重大な関心をもっています。

37W卒

大沢 幸一

### 第六支部

#### 総会及納涼会開催

朝日輝く妙なる色に卒業してもこのメロディを聞くと、在校生時代にタイムスブリットし、感慨新たなものがある校歌を開会迄会場に流して、八月二十五日(土)、地元

のときわ集会所で、池田会長村田、八木橋西副会長、百海事務局長の御来賓を頂き、開催致しました。

初めに今年度支部設立に代表発起人として、多大な御尽力を頂き今回支部長を勇退された須貝前支部長より御挨拶を頂き、支部設立時の苦労話や美喜仁での設立総会の思い出話等を語っていただき、さらなる会の発展を願った温かい言葉をいただきました。

次に新支部長に選出された山田より須貝前支部長の労のねぎらいの言葉や、今後の抱負等の話があり、来賓の池田会長より御挨拶を頂き、その中で生徒数の減少により、同窓会運営も資金的に多難な時代になって居る等のお話し

を頂き、その後百海事務局長より同窓会活動の現況説明を頂きました。

そしていよいよ加藤顧問の発声で納涼会のスタート。久し振りの猛暑で生ビールも美味しく、またたく間に会場はもりあがり、出席者の自己紹介ではユーモアあふれる中に在校時の苦労話や近況報告等意義あるものでした。

現在は物の豊かさとは裏腹に心の貧しさ、人と人との交流が希薄になっていく時代に、同窓会活動はより意義深いと痛感して居ります。

今後同窓会本部の御指導を頂きながら、会員一同切磋琢磨して同窓会の発展と地域社会に貢献していきたいと思えます。

支部長 山田 祐介



25 1139



# “素晴らしき同窓会”

前事務局長

中里 昌明

実行力のある佐藤富三会長さんより支部設立するように昭和六十三年に指示された事により同窓会今日の姿の原点が誕生致しました。最初の支部は会長さんの膝元第十支部が平成元年二月設立されまして以来桐生市内が結成されました。平成三年に会長が、五十嵐健雄さんにバトンタッチされて温和で誠実で思いやりのある人柄で県内は勿論県外にも、発展しました。

又、当時副会長でした、周東晴二さんの紹介で平成四年に開校記念講演を頂いた山口多賀司（現非破壊検査（株）会長）さんに支部結成を懇願致しました。秘書室長・宮根賢毅さんを静岡・愛知に派遣して頂き、関西支部（滋賀県以西）が今井嘉吉支部長さん平成六年設立、総会では卒業以来初めて会う人も多く、もっと早くとの声も伺いました最後の校歌斉唱では感激の涙で、今日までの人生を思い出しての感涙でした。

平成九年二月中部支部（愛知・岐阜・三重・福井・富山・石川）蟹江光正支部長さん、二か月遅れて静岡支部・大澤房次郎顧問・高草木敏夫支部長さんが誕生し箱根以西の全てが組織されました事に衷心より感謝申し上げます。県内においては、平成七年前橋支部・荻野章支部長さんが、その後慶徳勝正さんのご尽力により群馬中央支部に発展しまして前橋以西を包括して頂きました。

平成十一年に数塚支部で藤生高正支部長さんが誕生致しまして二十五支部が活動して頂いて居ります。

県外支部は毎年総会を開催し活発な活動をして居ります総会に出席させて頂く度に新たな発見と出会いがありました。関西支部では各界の一流の方を招聘されて講演会をされ、素晴らしい知識を学びました事は生涯忘れません。

全国の素晴らしい同窓生の皆様方のご活躍を目の当たりに致しまして伝統ある母校に感謝します。各地の皆様方に紙面をお借り致しましてお礼を申し上げます。

本校では機械科と電気科が今年度初めて実施した。機械科の実施内容を紹介します。対象は三年生の二クラスの全員、期間は一日と短い、依頼先の会社は桐生管内の製造業の社と桐生消防本部で各々2〜7名ほどの単位で参加。生徒の報告書によると、ほとんどの生徒が従業員の懸命でしつかりした作業状況や親切な説明、また自身の作業体験などで驚きと新鮮な感覚を

# 学校だより

## インターシップを

### 実施して

機械科 田村 幸裕

高校生に確かな職業観と勤労観を育てようと県教委の指導の下に数年前から、本県でもインターシップ（就業体験）が実施され、平成11年度実施校35校、三千二百人余り、今後増加の見込みのようである。

本校では機械科と電気科が今年度初めて実施した。機械科の実施内容を紹介します。対象は三年生の二クラスの全員、期間は一日と短い、依頼先の会社は桐生管内の製造業の社と桐生消防本部で各々2〜7名ほどの単位で参加。

生徒の報告書によると、ほとんどの生徒が従業員の懸命でしつかりした作業状況や親切な説明、また自身の作業体験などで驚きと新鮮な感覚を

# 国際交流 ホームステイで 学んだこと

英語科 関根 和俊

持つと同時に、仕事について敬虔などでも形容するような意識も持ったようである。今年度より期間を二週間位に設定するよう動きも出ていたが、今回、生徒の受け入れ先に簡単なアンケートをお願いしたが、それによると、一日ないし三日程度であった。二週間ともなると、先方では専任の指導者を準備することが必要となり、生産の効率低下の原因ともなりかねない。現在アルバイトをしている生徒も無数といえるほどで、はたして希望を申し出る者があるかどうか危惧している。

今年の日本の夏は猛暑だった。気温30度以上のうだるような暑さの7月24日にニューギランドに向け出発した。9時間以上の空の旅の後は気温20度前後のオークランドの「涼しい冬」が迎えてくれた。南半球ではこうも気候が違うものかとあらためて深い感慨をおぼえた。

ローズヒル・カレッジで生物を教えているジル先生の家で8月1日までホーム・ステイをさせていただいた。彼女はとても細やかな心づかいのできる人だが学校では生徒指導の仕事もしている。桐生の生徒たちは週末と遠足の日を除いてローズヒル・カレッジに通いホスト・ファミリーの生徒と共に授業を受けた。

私が今回のホームステイで学んだことは「自己主張をしっかりと、そして自分の責任において自ら行動すること」



加藤鉄工(株)での実習風景

### 生徒会だより

気分爽快、スポーツ大会

顧問 柿沼 一郎

暑い。連日の38℃、39℃の

失礼になってしまうのである。今回ホームステイ中に2回遠足があった。お客様気分でした。私は遠足当日の送り迎えだけのローズヒルカレッジ側の対応に当惑してしまった。この時の経験を生かそうと？度目は事前に引率の下見をしたいと伝えた。この下見で当日の私の不安は払拭された。自分が何かをしたい時あるいは人に何かしてほしい時は外国ではきちんと相手に伝えるべきである。そうでないともし誤解があるとトラブルに発展することさえあるのだ。私はこのことを今回の引率で体験を通して理解することができた。

報道の7月。汗だくだけのスポーツ大会が行なわれた11日・12日の両日は、日本列島が亜熱帯をとり越して熱帯地域の様相を呈している。地球温暖化をしっかりと肌身に焼きつけるのに十分なその威力。サービスのぶっかき氷の麦茶が大好評で例年の1・5倍の消費量でした。完全な予算オーバーとなりましたが、用意する側の生徒会としては忙がし嬉しの悲鳴となり熱中病も心配される中でのこの麦茶はとてもありがたいものでした。さて、スポーツ大会は卓球の復活もあり、校庭・体育館・卓球場の3会場で、サッカー・ドッジソフト・バレー・バスケット卓球の6種目が行なわれました。若いエネルギーには不十分な校庭。何とかならないかと毎年の課題になります。狭いには狭いなりに多少のメリットがあります。打球はすい込まれる様に

2階の窓ガラスへガチャーン。気分はどこらかと言えば爽快でしょう。自身のパワーが衆目の中での一撃となり雄猛びをさそいます。今回は2枚。狭い会場の中でも全てが同時進行で進んで行く2日間のプログラムは選手兼役員兼応援と一人3役をこなす生徒も多い。チームプレーが基本のスポーツ大会では一人が欠けても試合にならず棄権や不戦敗といったルールで進められていきます。例年ならばあちらこちらに散らばったチームメイトを呼び出したり、集合時間遅れたチームの呼び出しで放送がひっきりなしでうるさいほどです。毎年何度となく繰り返された姿ですが今年度は呼び出しの放送が一度もなく、時間通りともスムーズに進行しました。ちゃんと時間通りに集まって来るのです。驚きました。感心しました。あり得ないことが実現してしまったこととまどいにも似た不思議。もちろん生徒会としてはスケジュール作りには細心の注意を払ったのですが……が、しかし……生徒は頑張りました。

### 部活紹介

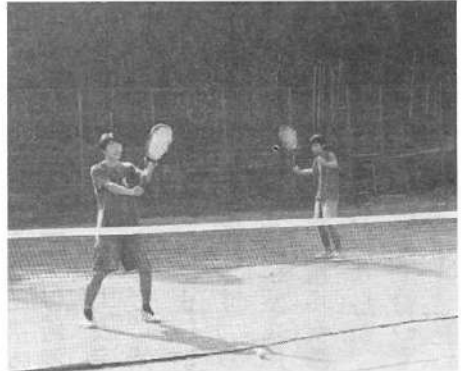
#### テニス部

顧問 佐藤 豊和

朝7時からの朝練、昼休みの筋トレ、そして日没まで練習。大会前には、その後にはナイター練習。夏休みは早朝6時から練習。こんな厳しい練習ですが、部員たちが伝統に基づき話し合い、決めたことなので、幽霊部員は一人もいません。部活以外でも、定期試験前の勉強会、予餞会等の生徒会行事への参加、大会・イベント後のバーベキューなどを、部員同士のつながりを大切にしています。高校からテニスを始めた生徒ばかりですが、過去には団体戦関東大会5年連続出場の実績もあります。最近では、昨年度の総体でS3位・D3位、今年度は市の大会でS優勝・3位、D優勝・3位の好成績をとり、県新人戦でもSベスト8に入賞しています。練習あるのみの素人集団！関東大会出場を目指し頑張りつています。

### 体操部

顧問 櫻井 孝雄



桐工体操部の活躍 現在体操部は、男子七人、女子四人と人数の少ない部員で活動しています。五月まで、「桐生体操クラブ」の体育館で練習していましたが契約が切れてしまい、現在は桐工の体育館で練習をしています。今年の大会の結果ですが、高校総体団体男女とも、二位で関東大会出場、インターハイ県予選では、男子で石橋峻(機械科三年)、女子で新井智子(染色デザイン科三年)が県予選を通過して熊本県で開催された、本大会に出場しました。

又、七月に国体の県予選があり石橋峻が群馬県チームの一員に選ばれ、関東ブロック大会に出場し五位で、宮城国体に出場することになりました。

以上のような成績ですが、専用体育館がなくなった練習は新しい技を安全に覚える「ピット」という設備がなく、進歩が遅くなってしまい困っています。生徒たちはそのような状況の中でも夜遅くまで練習しています。応援をよろしくお願いします。



## 事務局だより

### 校歌CD新ジャケット誕生

新入学生に毎年記念品として配布してきました校歌CD（校歌・応援歌・数え歌集録）のジャケットが生まれ変わりました。表紙に平成12年度版同窓会名簿表紙でお馴染みの大須賀一雄氏（30M卒）による校舎イラストを載せ、裏表紙に現在の校庭北より校舎を眺めた写真を掲載しました。



### ゴルフ大会中止

毎年開催されてきました、親善ゴルフ大会（赤城カントリークラブ・200名参加予定）は第10回目の記念すべき大会になるはずでしたが台風の影響のため中止となりました。残念でしたが準備にあたってくれました役員の方々並びにエントリして下さった会員の方々には感謝申し上げます。以下来年の奮起を期待して歴代優勝チームを掲載します。

- 第1回 第十一支部
- 第2回 大間々支部
- 第3回 第八支部
- 第4回 薮塚支部
- 第5回 大間々支部
- 第6回 第十六支部
- 第7回 第八支部
- 第8回 大間々支部
- 第9回 第十二支部

### 桐原稿募集のお知らせ

今回桐原より「近接支部だより」を設けました。今後は順番で各支部より原稿をいただき掲載を予定しています。又、その他に個人もしくは支

部で掲載したい記事がありましたら、是非、事務局までご連絡下さい。出来る範囲内で掲載させていただきます。尚、発行は毎年11月18日となっている都合上その2ヶ月前までに寄稿下されば幸いです。

### 本部役員等変更・加入のお知らせ

前項に活動回顧記事を頂き、長年、事務局長として同窓会活動にご尽力され多くの功績を残しました中里昌明事務局長（35M卒）が教職退任とともに勇退されました。しかし、今後も同窓会顧問として同窓会活動をご支援していただくことになっております。

又、それに伴いまして新事務局長に百海晃弘（50W卒）染織デザイン科教諭が就任しました。

その他の変更は以下の通りです。

- 六支部 山田祐介 31M1卒
- 一四支部 大川敏男 28W卒
- 顧問 深町裕教 頭
- 総務部長 岩崎武雄 43E卒
- 総務部 鹿木健司 61D卒
- 編集部 角田登 47A卒
- 静岡支部 松村元夫 28M卒
- 今年から紙面内容を少し変え市内近隣の支部活動に重点を置き紙面づくりを致しました。

### 編集後記

今年九月米国で同時多発テロと云う未曾有の重大事件が発生し七千人もの死傷者が出ました。犯人グループが罪の無い乗客を乗せた旅客機をハイジャックし世界経済の中核ニューヨークの世界貿易センタービルと米国の軍事力の象徴国防総省ビルに突入した卑劣極まりない事件であります。世界を震撼させたこの事件で米国はテロ根絶のため報復攻撃の準備を進めている現状であります。今後世界中の混乱が経済不況と共に心配される所であります。さて今年も桐原が発刊されるにあたり関係の皆様には大変ご苦労を頂き深く感謝申し上げます。今年、第10回目を迎えた親睦ゴルフ大会が台風の直撃により苦渋の決断の末、中止となりました。残念に持ち越しと成りました。残念でしたが結果的には正しい判断であったと思えます。今年から紙面内容を少し変え市内近隣の支部活動に重点を置き紙面づくりを致しました。